

事務事業名 子ども会リーダースクール事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：668

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-19-553
基本事業：	03	青少年の指導者育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	青少年の指導者・子どもリーダー数 生涯学習ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるもの人数）		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成19年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市内の小学4・5年生（次年度の子ども会役員対象者）			<p>【手順】 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会（「市子連」）と研修内容の検討 各子ども会（市子連未加入を含む）に開催案内。参加者のとりまとめ 集合研修（1日）を開催。終了後に参加者全員にリーダー認定証を交付</p> <p>【内容】 子ども会リーダーの基礎知識の学習や企画立案力を養成するため、以下の内容の座学、グループワークなどを行う。 ・子ども会、育成会とは ・子ども会リーダーとその役割とは ・子ども会活動の意義 ・仲間づくりのためのレクリエーション ・子ども会行事の企画立案方法</p>							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			子ども会リーダーの基礎知識の学習や企画立案力を養成するため、以下の内容の座学、グループワークなどを行う。							
子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営されるようにする。			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会、育成会とは ・子ども会リーダーとその役割とは ・子ども会活動の意義 ・仲間づくりのためのレクリエーション ・子ども会行事の企画立案方法 							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標	
スクール参加者数		人	42	15	50	50				
スクール参加者のうち、子ども会役員になった人数		人	27	13	40	40				
5. コスト										
事業費		計	千円	10	4	71	71			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費		千円	792	773	782					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	802	777	853	71				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	（状況） スクール参加者数は、前年度比27人減となった。									
どちらかといえばあがっている	（要因） 令和4年度は生涯学習センターで従来の集合研修で実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、少ない参加者数に留まっている。									
あがっていない（停滞・低下）	なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合研修に代えて、各子ども会に研修資料の配布及び研修動画を市子連ホームページに掲載し、各子ども会単位での研修（自宅での自主学習等）を実施した。									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	コロナ禍前と比較し、リーダースクール参加者数が少ない状況となっている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
リーダースクール事業の目的である「子どもが主体となる子ども会活動」を押し進めるため、市子連に加入しているかどうかに関わらず参加案内を行っているが、コロナ禍の影響もあり、少ない参加者数に留まっている。前年度の実施報告書等、学習内容がわかる資料を開催案内に同封する等の工夫をし、引き続き参加者増に努めていく。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を目的として平成19年度から事業を開始した。										